

月刊 学・思・貫

寄宮中学校だより

VOL.02 2020.5.25

発行：校長 前田



「寄宮中学校」で学ぶこと

本校の呼称は、「よせみや」ではなく「よりみや」です。この校名には開校時の、寄せ集められたのではなく、自ら寄り集まっているのだという思いが詰まっています。ですから、生徒のみなさんが「寄宮中学校」と言うたびに、私は主体的にここにいる、と宣言していることになります。

寄宮中学校で身に付けて欲しい3つの力があります。その1:「自分のことを好きになる」、みんなそれぞれに良さがあります。まず自分がそのことを信じられるようになりましょう。その2:「つながっていることに気づく」、みなさんはいつの時もけっして一人ぼっちではありません。その3:「居場所は自分でつくる」、ここ嫌い、ここは私の場所ではない、と言うのではなく、自分の所属する集団が自分の居場所となるように関わり方を考える力を身につけましょう。

今年度は、いつもと違う困難な一年になるかもしれません。しかし、こういう時だからこそ、自分を大切に、周りの人を大切に、力を合わせて一緒に様々な壁を乗り越えて、より充実した中学校生活にしましょう。

新入生、全員集合！！

待ちに待った入学式 (5/21)

コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休校で、長い間延期されていた入学式を、ようやく実施することができました。学校としては様々の方法を工夫しましたが、学校再開や入学式日程などの情報が各家庭にしっかり伝わっているか心配していました。また、長期にわたる休校で不安や生活リズムの乱れから体調を崩している生徒もいるのではないかとということも心配でした。ですから、入学式には欠席する生徒もいるだろうと予想してもしました。ところがです。何と新入生は一人の欠席者も無く、全員登校し、全員、入学式に参加することができました。素晴らしいことだと思います。それぞれのご家庭での、本校ホームページのこまめな確認や、お子さんの体調管理等にご協力をいただいた成果だと思います。ありがとうございました。

式典での、在校生代表、生徒会長の宮國萩詩さんのあいさつは、先輩としての優しさにあふれるもので、新入生の不安をふきとばしてくれるものでした。新入生代表、宮里芽依さん（上間小卒）は、臨時休校中の不安を乗り越えて、中学校生活への期待と決意をしっかり話してくれました。新入生保護者代表の村吉秀明さんは、残念ながら仕事の都合で入学式には参加できず、あいさつを代読させていただきました。村吉さんも寄宮中の卒業生だということで、本校の教育活動への熱い思いを会場みなさんにお伝えすることができたと思います。ようやく全校生徒がそろい、令和2年度のスタート。スタートダッシュを目指して。

感染症対策へのご理解とご協力を！

学校は再開しましたが、授業や給食、清掃の方法、学校行事など、感染症対策のため、従来通りにはいかないこともあります。ご家庭での毎日の検温、マスクの着用や水筒の持参など、新しく取り組まなくてはならないこともあります。命を守るためですので、学校ホームページをご確認いただきながら、ご理解、ご協力を。